

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	化学工学基礎 2		
科目基礎情報							
科目番号	0019		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	: 2			
開設学科	専攻科共通 (平成30年度以前入学生)		対象学年	専2			
開設期	後期		週時間数	4			
教科書/教材	標準化学工学 (化学同人)						
担当教員	一森 勇人						
到達目標							
<p>化学工学プラントにおける分離方法を理解し説明でき、実際の問題に適応できる。 化学工学見地から蒸留について理解し説明でき、実際の問題に適応できる。 化学工学見地から吸収について理解し説明でき、実際の問題に適応できる。 化学工学見地から乾燥について理解し説明でき、実際の問題に適応できる。</p>							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	化学工学プラントにおける分離方法を理解し説明でき、実際の問題に適応できる。		化学工学プラントにおける分離方法を理解できる。		化学工学プラントにおける分離方法を理解できない。		
評価項目2	化学工学見地から蒸留について理解し説明でき、実際の問題に適応できる。		化学工学見地から蒸留について理解できる。		化学工学見地から蒸留について理解できない。		
評価項目3	化学工学見地から収について理解し説明でき、実際の問題に適応できる。		化学工学見地から吸収について理解できる。		化学工学見地から吸収について理解できない。		
	化学工学見地から乾燥について理解し説明でき、実際の問題に適応できる。		化学工学見地から乾燥について理解できる。		化学工学見地から乾燥について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	技術者として必要な化学工学における装置・プラント設計等の基礎的な事項について解説する。化学工学プロセス、反応容器設計、プラント設計の基礎について解説する。						
授業の進め方・方法	座学として学習するだけでなく、蒸留、ガス吸収、乾燥については基礎的な実験実習を行い、学習を深めていく。						
注意点	特になし						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		この授業の到達目標、講義上の注意、評価方法を理解できる。		
		2週	1. 分離方法 1		分離方法の原理を理解できる。		
		3週	分離方法 2		分離方法の実験を行い、レポートにまとめることができる。		
		4週	分離方法 3		分離方法について理解して説明できる。		
		5週	2. 蒸留 1		蒸留の原理を理解できる。		
		6週	蒸留 2		蒸留の実験を行い、レポートにまとめることができる。		
		7週	蒸留 3		蒸留について理解して説明できる。		
		8週	中間テスト		合格点を取る		
	4thQ	9週	3. ガス吸収 1		ガス吸収の原理を理解できる。		
		10週	ガス吸収 2		ガス吸収の実験を行い、レポートにまとめることができる。		
		11週	ガス吸収 3		ガス吸収について理解して説明できる。		
		12週	4. 乾燥 1		乾燥の原理を理解できる。		
		13週	乾燥 2		乾燥の実験を行い、レポートにまとめることができる。		
		14週	乾燥 3		乾燥について理解して説明できる。		
		15週	まとめ		これまでの学習内容をまとめることができる。		
		16週	期末テスト		合格点を取る		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	0	20	0	100
基礎的能力	40	10	0	0	0	0	50
専門的能力	10	10	0	0	20	0	40
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10